基地関係特別委員会 会議録（要旨）

○ 開催年月日 令和6年11月21日（木）

午前10時00分 開会

午前10時58分 閉会

○ 場 所 議会応接室

○ 出席委員（10名）

委員長	平安座武志
委員	伊佐文貴
委員	山城康弘
委員	嶺井拓磨
委員	我如古盛英

副委員長	伊佐哲雄
委員	松田朝仁
委員	下地崇
委員	宮城政司
委員	プリティ宮城ちえ

○ 欠席委員（0名）

○ 委員外議員（0名）

○ 説明員（3名）

基地政策部 次長	津波古良幸
基地渉外 係長	里村圭祐

基地渉外 課長	平良博康

○ 議会事務局職員出席者（4名）

次長兼 総務課長	當山全盛
議事係長	大城拓也

議事担当主幹	平田駒子
主任主事	伊佐直樹

○ 協議案件

普天間飛行場所属機（UH1・MV22）の予防着陸について

基地関係特別委員会 会議録（要旨）

令和6年11月21日（木）

○平安座武志 委員長 ただいまから基地関係特別委員会を開会いたします。

（開会時刻 午前10時00分）

【協議事項】

普天間飛行場所属機（UH1・MV22）の予防着陸について

○平安座武志 委員長 本件について、委員会の招集要請者の我如古委員より説明を願いたい。

○我如古盛英委員 11月14日に普天間飛行場所属のUH1・MV22オスプレイが相次いで不時着・緊急着陸したとの報道を受け、招集を要請したものである。昨年の屋久島沖でのオスプレイの事故から1年が経過し、米軍にも気のゆるみが出てきていないかと危惧する。市のど真ん中に普天間飛行場がある本市の議会としては対応を検討すべきと考える。委員会での同意が得られれば抗議決議等を出していければと考えている。

○伊佐文貴委員 新聞報道等だけでは不明な点もあり、それをどう確認していくのか。

○平安座武志委員長 招集要請者への質疑終了後、市の担当部より状況等の聴取を行う予定である。

○嶺井拓磨委員 抗議決議の話があったが、何に対しての抗議決議を行うのか伺いたい。

○我如古盛英委員 今回UH1は、国頭村に不時着し地域住民に多大な不安を与えている。MV22オスプレイについても、奄美空港に緊急着陸したことについても、これまで言われているように欠陥機の懸念もあり、飛行制限もかかっていたことを考えると、普天間飛行場所属機が市内に墜落する可能性もありうるため、その事前防止のため、もっと整備に力を入れてほしいという意味を込めて抗議決議を行いたいと考えている。

○嶺井拓磨委員 今後は、警報ランプが点灯して緊急着陸等がないように整備を徹底してほしいという抗議ということか。

○我如古盛英委員 そのとおりである。

○山城康弘委員 我如古委員は、今回の事件を緊急着陸としているが、防衛局は予防着陸としている。緊急着陸とした根拠を伺いたい。

○我如古盛英委員 申し訳ない。緊急着陸ではなく不時着である。

○**山城康弘委員** 不時着と緊急着陸、予防着陸の違いは何か。そう位置付けた根拠を伺いたい。

○**我如古盛英委員** 調査不足であるが、マスコミの報道に沿ってのものである。この後の担当課からの説明を伺って確認していければと思う。マスコミの報道で市民は不安に思っていることもあり、その対応をすべきということである。

○**山城康弘委員** マスコミが発表したものを、裏付けも取らずに行動を起こすのかということになる。そのために根拠を伺ったが確認できなかった。

○**我如古盛英委員** またマスコミになるが、今回の件については地域からの不安も聞こえてくる。テレビ報道でも佐喜眞市長が遺憾に思うとの発言をされていることもあり、議会でも行動すべきということもあって招集請求を行った。

○**下地崇委員** 国頭村議会でも抗議決議を行っており、そこと歩調を合わせる意味もあるのか。本市議会としても何らかの対応をすべきとは思っている。

○**平安座武志委員長** この後、基地政策部より今回の事件の経緯や市の対応等を伺い、その後委員会としての対応について諮ってまいりたいが、そのように進めてよろしいか。

(「異議なし」という者あり。)

○**平安座武志委員長** 御異議ないようなので、そのように進めてまいりたい。

(基地政策部職員入室)

○**平安座武志委員長** それでは、今回の事件の経緯と市の対応等について、基地政策部より説明を伺ったのちに質疑を伺っていきたい。基地政策部より説明を願いたい。

(基地政策部より今回の事件について説明)

○**平安座武志委員長** これより質疑を許します。伊佐文貴委員。

○**伊佐文貴委員** 今回は、警告灯の点灯による予防着陸とのことだが、これ以上飛行すると事故が起こるかもしれないという意味で予防的に着陸をしているのか、点灯にもかかわらず飛行を続けた場合さらに危険なことが起こる可能性があるということなのか見解を伺いたい。

○**基地政策部次長** 警告灯について詳細は把握していないが、防衛省においては、不時着に関しては定義は定めていないが、予防着陸は安全確保の手段の1つであり、完全にコントロールした上で、最寄りの着陸可能な場所に着陸させることとしており、警告灯が点灯した際には予防的に着陸を行っているものと認識している。

○**伊佐文貴委員** これ以上飛ぶと危険な事態になる可能性がある場合に行うのが予防着陸と自分は認識しているが、ヘリコプターは米軍等だけでなく、ドクターヘリ等民間にもあるが、その民間における予防着陸はどのようなになっているのか伺いたい。

- 基地政策部次長** 詳細は把握していないが、軍、民間関係なく機体に不具合がしようじた際には同じような運用になっているのではないかと推測する。
- 伊佐文貴委員** 自分も同じような認識であり、自衛隊でも同様に予防着陸を行っている事例もあるようである。今回の件も同じような事例であるという認識でよろしいか。
- 基地政策部次長** 運用マニュアル等が整備されていると思われるので、それに従った措置と認識している。
- 山城康弘委員** 不時着と予防着陸の定義は定まっていないという認識でよいか。また、緊急着陸についても定義を伺いたい。
- 基地政策部次長** 防衛大臣の記者会見においては、防衛省においては統一的な見解はまだないが、予防着陸は安全確保の手段の1つであり、完全にコントロールした上で、最寄りの着陸可能な場所に着陸させることとしており、不時着は、飛行機が緊急事態に遭遇してやむをえず、着陸をすることとしているようである。
- 山城康弘委員** 不時着の場合はコントロールを失う可能性があるという認識でよいか。
- 基地政策部次長** 大臣の発言では、飛行機が緊急事態に遭遇して、やむをえず着陸、着地することとなっていた。
- 山城康弘委員** 緊急事態に遭遇するというのは、コントロールを失うことも含まれているものとする。予防着陸については、コントロールはできるが、警告灯が点灯したためにマニュアル等に沿って着陸を行ったという理解でよいか。
- 基地政策部次長** そのように理解している。
- 山城康弘委員** 基地政策部としては、国の発表のほかに予防着陸等の定義について確認を行っているか。
- 基地政策部次長** 定義については詳細は把握していないが、防衛局に対しては、今回の警告灯の点灯原因、被害状況、再発防止策等については確認を行っている。
- 嶺井拓磨委員** 直近において、国内における予防着陸の事例については把握しているか。
- 基地政策部次長** 民間等の事例について国交省のホームページを確認してみたが、重大事故の事例の記載のみで、予防着陸の事例はなかった。
- 嶺井拓磨委員** ネットで確認したところ、1か月に1回程度の割合で起こっているようである。那覇の陸上自衛隊でも起こっており、予防着陸は頻繁に起こっているものと認識しているが、陸上自衛隊の件はエンジンが停止したとあり、そのような状況でも機体がコントロールできていれば予防着陸というのかという疑問もあった。議会事務局に確認をお願いしたいが、県外の米軍飛行場がある自治体において、米

軍の予防着陸に対し抗議決議等が行われた事例があるのか調査をお願いしたい。

○**議会事務局** 確認いたしたい。

○**松田朝仁委員** 他市の動きも確認したい。また、今回の委員会の招集の趣旨も確認したい。

○**議会事務局** 民有地への予防着陸があった国頭村が抗議決議を行っているが、その他の自治体は未確認である。

○**平安座武志委員長** 令和3年にうるま市津堅島にUH1が不時着を行った際の新聞報道によると、米海兵隊は、「予防着陸」を警告表示の点検のために安全で管理された場所に着陸すること、「緊急着陸」を「故障時に最寄りの場所になるべく早く着陸すること」、「不時着」を「制御不能で着陸して損傷すること」としているようである。基地政策部にお願いしたいのは、嶺井委員の質疑にもあったように、予防着陸がガイドラインに沿った措置であるのかどうかは確認すべきと考える。

○**宮城政司委員** 防衛局に警告灯が点灯した原因を照会したとのことだが、回答はあったか伺いたい。

○**基地政策部次長** 現在米側に確認中であるとの回答があった。

○**宮城政司委員** 提出のあった資料によると、UH1は、14日に予防着陸を行い、翌15日には帰還したとあるが、その間の報告について詳細を伺いたい。

○**基地渉外課長** 防衛局からは、14日の20時25分に第1報があり、内容としては、14日17時頃にUH1が辺戸岬から1マイルの位置に着陸したとのことであった。第2報が同日22時57分にあり、防衛局職員を現場に派遣し確認していること、着陸した原因としては警告灯が表示されたことによるとのことであった。その時点での機体の損傷等はなし。第3報が15日の6時3分にあり、着陸場所が国頭村宜名真の民有地であり、農作物等の被害については現在確認中で、所属が普天間飛行場所属とのことであった。第4報が15日の7時28分で、15日7時より米側の現地での機体整備が開始されたとのことであった。第5報が15日13時20分で、15日11時40分に米軍のパイロットが現地に到着して、機体の最終確認を行い、13時ごろ離陸を行ったとのことだった。そして、第6報が13時36分にあり、予防着陸していた機体が13時28分ごろ普天間飛行場に帰還したとのことであった。

○**宮城政司委員** 米軍側は原因を把握していたとしても、市側には連絡は来ていないので市は原因報告を求めているという認識でよいか。

○**基地渉外課長** 防衛局からの報告では、原因については含まれていなかったもので、こちらから原因の問い合わせを行い、現在米側に確認中とのことであった。

○**宮城政司委員** 原因の報告もまだということは、再発防止策もまだ連絡はないということか。

- 基地渉外課長** 原因究明と合わせて再発防止策についても防衛局に問い合わせしているところであるが、予防着陸については、安全確保の1つであると理解しており、米軍機の運用に関しては、安全確保が大前提と考えており、引き続き米側に安全管理に万全を期すよう求めているとの回答があった。
- 宮城政司委員** 新聞報道の内容確認となるが、辺戸岬周辺は、やんばる国立公園に含まれ米軍の訓練区域外であるとあるが、予防着陸したところは訓練区域に含まれるのか。
- 基地渉外課長** 着陸場所は国頭村宜名真の民有地とあるので訓練区域外と推測する。
- 宮城政司委員** 原因も不明な状況では、同じようなことがまた起こる可能性もあり、市民は不安である。今後も継続して原因や再発防止策の報告を求めるという認識でよいか。
- 基地政策部次長** 今年度に入り、普天間飛行場所属機の予防着陸が今回も含め4件発生しており、その時の状況に応じ適切に対応してまいりたい。
- プリティ宮城ちえ委員** 新聞報道において、20キロ先にヘリパッドがあるにも関わらず、民有地に不時着したとあるが、その理由を伺いたい。
- 基地政策部次長** 防衛局の報告の中には特に理由は含まれていなかった。
- プリティ宮城ちえ委員** すぐそこにヘリパッドがあるのにもかかわらず民有地に不時着したことに疑問を感じる。また、以前名護市安部でオスプレイが大破した際にも政府が発表したのは不時着水としており、呼び方にとらわれず原因を確認することが必要と考える。あと、市長の談話も報道されているが、今回の事件を受けた市の対応について伺いたい。
- 基地政策部次長** 市長においては、11月15日に口頭にて沖縄防衛局長に対し、予防着陸が相次いだ事態を受け、原因究明、安全管理の徹底、再発防止を求めている。今後の抗議等については、現在調整中である。
- プリティ宮城ちえ委員** 今後の抗議先を伺いたい。
- 基地政策部次長** 抗議先についても調整中である。
- 呉屋等議長** 議会事務局に確認したいが、米軍側に提出する決議については、「抗議決議」という名称で行うという決まり等はあるのか。
- 議会事務局** 確認して報告いたしたい。
- 我如古盛英委員** 市長による抗議要請は、来週あたりを予定しているという認識でよいか。
- 基地政策部次長** 来週実施する方向で調整を行っている。
- プリティ宮城ちえ委員** 普天間飛行場所属機がこのような事件を起こしているこ

とから、市長とも歩調をあわせ抗議を行うべきと考える。

○**平安座武志委員** 市長の抗議要請の内容については、予防着陸についてなのか、整備の徹底についてのものなのか伺いたい。

○**基地政策部次長** 予防着陸については、機体の安全を確保するためのものでやむをえないものと理解している。ただし、予防着陸が頻発している状況について整備が徹底されているのかについて求めることを検討している。

○**伊佐哲雄委員** 市長が行うのは抗議としてなのか、要請なのか伺いたい。

○**基地政策部次長** それを含めて調整中である。

○**伊佐哲雄委員** これまでの質疑でオスプレイの奄美空港への予防着陸については、あまり出てこなかったが、要請者の我如古委員としてはこれも含めて抗議したいということか伺いたい。

○**我如古盛英委員** この2件の事件が相次いで起こったことは、普天間飛行場所属機の整備点検が甘くなっていることを示すものではないかと考えるため、委員会の同意が得られれば含めて行っていきたい。

○**伊佐哲雄委員** 奄美では抗議の動きはあるか。

○**議会事務局** 把握していない。

○**基地政策部次長** こちらでも把握していない。

○**平安座武志 委員長** 休憩いたします。(休憩時刻 午前10時48分) ※当局退場再開いたします。(休憩時刻 午前10時57分)

○**平安座武志 委員長** 休憩中にお諮りしましたように、会派調整を行った上で、次回日程は調整の上で連絡することとしたい。

【協議結果】

本件における取扱いについては、会派持ち帰りとし、次回日程については調整後連絡することとする。

○**平安座武志 委員長** 以上をもちまして、本日の委員会を閉会いたします。

閉会時刻 (午前10時58分)